

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	令和6年度第2回市町村等・議会議員特別セミナー
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

地方自治体が抱える共通課題について、全国共通の課題と現状と動向について、研鑽し、今後の上田市の行政課題、よりよい市への提言を行うことを目標に、研修に参加。

2 実施概要

実施日時		視察先	滋賀県大津市 JIAM 全国市町村国際文化研修所
令和6年7月29日(月)～30日(火) 29日13:15～16:35、30日9:00～12:20		担 当	研修担当部門
報 告 内 容	報告：研修内容		
	7月29日(月)		
	13:15～14:45 講義 曖昧な弱者とその敵意～社会分断の新たな構造～ 成蹊大学文学部現代社会学科 教授 伊藤 昌亮 氏		
	15:05～16:35 講義 ともに生きる 未来につなぐ みんなでつくる「健康しが2.0」 滋賀県知事 三日月 大造 氏		
報 告 内 容	7月30日(火)		
	9:00～10:30 講義 「労働供給制約社会」への処方箋 リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋 星斗 氏		
	10:50～12:20 講義 こどもたちの生きる力を育む～「COLOMAGA プロジェクト」の活動の軌跡 ～COLOMAGA プロジェクト本部事務局長／伊豆市版 KURURA 事務局 高橋 いづみ 氏		
報 告 内 容	概要		
	1. 曖昧な弱者とその敵意～社会分断の新たな構造～ SNSを通じて作られる弱者叩きと弱者争い…自分こそ弱者である主張から、明白な弱者として 社会保障政策・人権政策が必要な方が差別されてしまうことについて		
	2. 未来につなぐ みんなでつくる「健康しが2.0」 講師は三日月大造滋賀県知事、2014年より知事に就任し10年を迎えた、県政の足跡と今後の 滋賀県の向けた政策を紹介、徹底した現場主義、8つの政策①「子ども・子ども・子ども」と 「ひとづくり」高専設置と高校生の海外留学支援②「人の居場所」と「公園」8つの自然公園 整備により全国1位の県土に占める割合を確保③琵琶湖とわたしたちの暮らし、世界湖沼デー		

の制定、水源④気候変動と生物多様性⑤まちづくりと地域交通、近江鉄道再生、交通税の検討
⑥文化・スポーツとレガシー⑦大阪・関西万博と水のつながり⑧県北部地域の振興

3. 「労働供給制約社会」への処方箋

働き手不足 1100 万人が引き起こす危機と希望

4. こどもたちの生きる力を育む～「COLOMAGA プロジェクト」の活動の軌跡

子ども達自らが取材・編集・発行する情報誌を通じて、地域愛を育む

全国の地方自治体が抱える課題を別の角度から見る機会を得た。

SNSが巻き起こす支援が必要な方々への差別に潜む心理状況

我が地域の課題をどう捉え、魅力に変えていく知事の活動

果たしてAIやDXで労働力不足を補えるか

子ども達が地元の魅力を自ら感じ取る活動など